

大崎が誇る 伝統工芸

しの竹細工、鳴子こけし、鳴子漆器

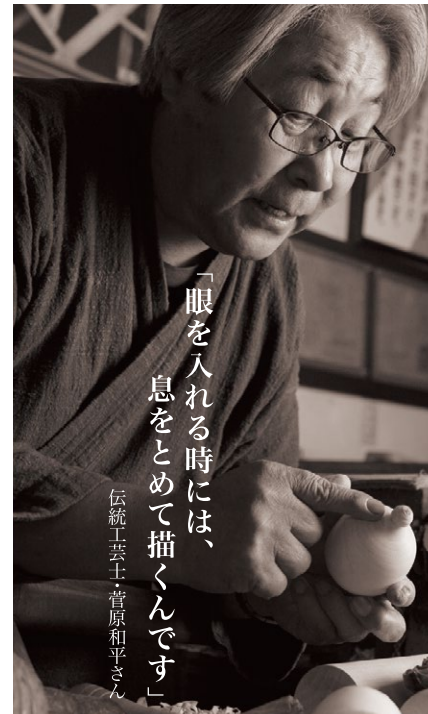


「道具としての用途が、網目のかたちを決める」

しの竹細工工人・千葉文夫さん

300年の伝統に現代感覚を盛り込んで

岩出山の第4代城主・伊達村秦公が武士の手仕事として奨励したこと
に始まるしの竹細工。その職人として、また指導者として活動しているのが千葉さんだ。「しの竹細工は、竹の皮だけを使い、その表皮を内側にし、て編みこんでいくので使う人の手にやさしく、水切れもいいのが特徴。それだけに、手間の多さも相当なもの。か



「眼を入れる時には、息をとめて描くんです」

伝統工芸士・菅原和平さん

鳴子こけしの愛らしさに秘めた職人技

江戸時代、お椀やお盆を挽く木地師が、子供のための玩具として作り与えたのが始まりとされているこけし。こけしの首の部分はロクロを回しながら、「気にはめ込む」「キュッキュッ」と鳴る鳴子こけしの特徴は、この首入れの技術あつてのものです。鳴子伝統こけしの第一人者菅原さんが、そう言いながら実演してみせてくれる。素材となる「ミズ



「いつも、静かな気持ちで。ただそれだけです」

鳴子漆器職人・後藤常夫さん

「用の美」を極めた鳴子漆器の真髄

今から約380年前、伊達政宗公の命により始まったと伝えられる鳴子漆器。その職人の中でも50以上の塗りの技術を持ち、数々の賞を受賞している後藤さんは、現代の鳴子の塗り師の代表的存在だ。「鳴子漆器は、日常の生活用品。だから、自分の手になじむものを選んで長く使つてほしい。最初から



岩出山の竹細工

美しい網目と使いやすさで人気

柔軟で弾力がある「しの竹」の特徴を活かした製品。なめらかな表皮を内側に編みこむことで、手なじみも抜群。

竹の美しさ、しなやかさを肌で感じる

手作り体験ならココ！

竹工芸館

(たけこうげいかん)

竹細工ギャラリーを目の前に、竹細工の手作り体験(300円〜・要予約)ができる。指導員が丁寧に教えてくれるので、初めての方でも安心。



■住所／大崎市岩出山字二ノ構115
■電話／0229-73-1850
■営業時間／9:00〜17:00
■休／水曜、年末年始
■入館料／無料



鳴子伝統こけし

首を回すと鳴る「キュッキュッ」という音が特徴。胴に描かれる模様は「重ね菊」といい、横から見た菊の姿を重ねて描くものが代表的。



■販売店／桜井こけし店(0229-83-3460)
■営業時間／8:00〜19:00
■休／不定休 ■価格／9,500円

絵付け体験ならココ！

日本こけし館

(にほんこけしかん)

こけしの絵付け体験(1,080円)ができる施設。館内では、歴代名工の作品や、約5,000点の東北の伝統こけしなどが鑑賞できる。



■住所／大崎市鳴子温泉字尿前74-2 ■電話／0229-83-3600
■営業時間／8:30〜17:00(12月は9:00〜16:00) ■休／1月1日〜3月31日 ■入館料／大人320円、高校生160円、中学生110円、小学生80円 ■HP／http://www.kokesikan.com/

世界でたったひとつ、自分だけのこけしを

鳴子漆器



しっとりとした手触りに幅広い用途

塗りは木目を生かした木地呂塗やふき漆仕上げ、また独特の墨流しの技法である竜文塗などがある。上品な光沢と堅固さが魅力。

鳴子漆器取扱店はココ！

“安心して使える漆器”を心がけ、職人が一つひとつ、手間を惜みず丁寧に製作した鳴子漆器。ぜひ手にとって確かめたい。

後藤漆工房

(ごとううるしこうぼう)

■住所／大崎市鳴子温泉字新屋敷122-2
■電話／0229-83-3628

瀾漆工房

(らんうるしこうぼう)

■住所／大崎市鳴子温泉字上ノ原98-3
■電話／0229-84-6544

佐藤漆工房

(さとううるしこうぼう)

■住所／大崎市鳴子温泉字南原200
■電話／0229-87-2361
■営業時間／9:30〜17:00
■休／火曜
■HP／http://urushigoya.com/

